

設定用バーコード

前述したペアリング準備やキーボードの設定などをバーコード読み取りで行なうことが可能です。

工場出荷状態へ初期化する

全ての設定が初期化されます。(機器のリセットとは異なります)



工場出荷時へ初期化

iOS用に一括で設定する

下記バーコードを1～3の順に読み込んでください。

①



iOS用の設定としてペアリングを開始する

②



キーボードを『English (US)』に設定する

③



ファンクションキーでキーボードの表示/非表示を切り替える

頭が『0』から始まるバーコードを読み込む

下記バーコードを1～2の順に読み込んでください。

①



なし

②



システム + カントリーコード

スマレジ用バーコードリーダー ALF ARK-5000X Cyclops ご利用マニュアル

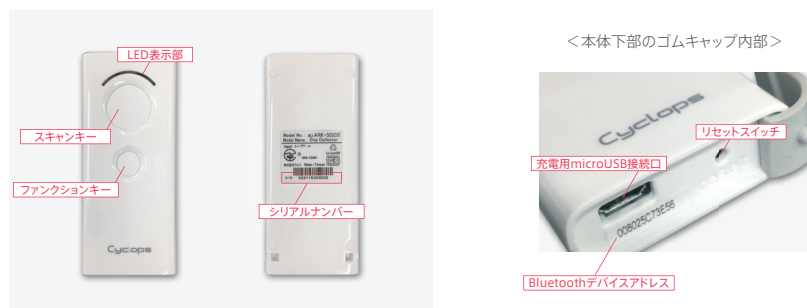
本体の説明
レジ端末との接続
設定用バーコード一覧

バーコードリーダー ALF ARK-5000X Cyclops を接続する

バーコードリーダー ALF ARK-5000X Cyclops (以下:Cyclops) はBluetoothと呼ばれる無線機能を利用して、レジ端末として使用するiOS機器 (iPad/iPod touch/iPhone) と接続します。

本体の確認と接続の準備

本体のボタンとシリアルなどの確認方法



スキャンキー	バーコード読み取りなどに使用します。 長押しで電源を入れたり、Bluetoothペアリング準備の開始を行ないます。
ファンクションキー	iOSソフトキーボードの表示/非表示を切り替えます。 レシートメモなど、キーボード入力を行なう際に使用します。
LED表示部	左端 (バッテリーLED): 充電中は赤、充電完了は緑に点灯します。 中央 (スキャンLED): スキャン実行時に成功は緑、失敗は赤で点灯します。 右端 (通信LED): Bluetooth接続時、ゆっくりと青で点滅します。
シリアルナンバー	スマレジ社へ動作などでお問い合わせいただく際にご確認ください。
充電用microUSB接続口	電源タップなどから配線して充電します。(付属のケーブル以外でも対応可能です) 家庭用電源から充電するには電源タップ用のUSBアダプターが必要です。
Bluetoothデバイスアドレス	レジ端末用iOS機器とペアリングする際、デバイスアドレス下4桁の確認が必要です。
リセットスイッチ	クリップなどの細いもので中のスイッチを押すことで、機器のリセットが行なえます。 動作が不安定な場合などに利用します。

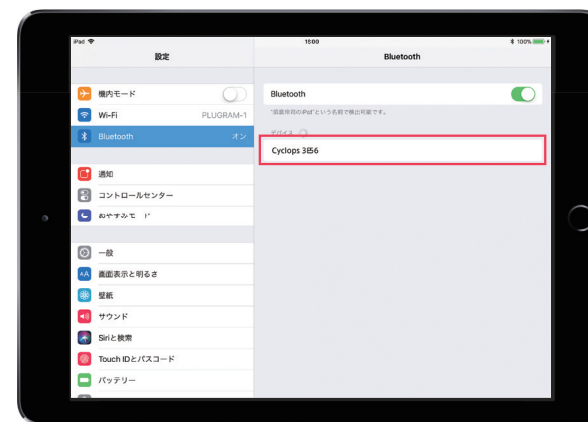
※電源OFFの状態でスキャンキーを長押しすると本体の電源が入ります

※電源ONの状態でスキャンキーを長押しし、通信LEDが早い青色点滅になるとペアリング準備中です

iOS機器 (iPad/iPod touch/iPhone)とCyclopsを接続する

設定方法

1. 『レジ端末 (iPad/iPod touch/iPhone) の設定 (ⓘ) > Bluetooth』と選択し、Bluetooth設定画面を表示します。
※Cyclopsは電源ONの状態で作業を行なってください
2. [Bluetooth]をONにし、デバイス一覧からCyclopsを選択します。
Cyclopsは「Cyclops * * * * (4桁の英数字)」と表示されます。
※上記の4桁の英数字は、本体下部のゴムキャップ内部に貼付されたBluetoothデバイスアドレスの後ろ4文字と同じです



3. 『自分のデバイス』にCyclopsが表示され、「接続済み」になっていれば設定は完了です。
4. Cyclopsで正常に読み取りを行なうため、iOSのキーボードを『English (US)』にセットしてください。
『レジ端末 (iPad/iPod touch/iPhone) の設定 (ⓘ) > キーボード > キーボード』と選択し、設定されているキーボードの一覧に、「英語 (アメリカ合衆国)」が表示されていることをご確認ください。
一覧に「英語 (アメリカ合衆国)」が設定されていない場合、『新しいキーボードを追加...』から該当のキーボードを選択して追加してください。
5. キーボードを「英語 (アメリカ合衆国)」にセットするには、iOSでキーボードが表示された状態で、キーボード左下の地球儀マークをタップすることで切り替えが行えます。
切り替わりの際、spaceキーの部分にセットされたキーボード名が表示されます。『English (US)』と表示されたことを確認してください。
もしくは、上記の地球儀マークを長押しすると選択可能なキーボードが一覧で表示されます。表示された一覧の中から『English (US)』を選択してセットすることも可能です。